【1】 日刊（日曜日除） 昭和25年10月6日 第三種郵便物認可 昭和26年7月13日 運輸省特別承認扱684号

磐城日日

昭和27年（1952）10月28日（火曜日） 第665

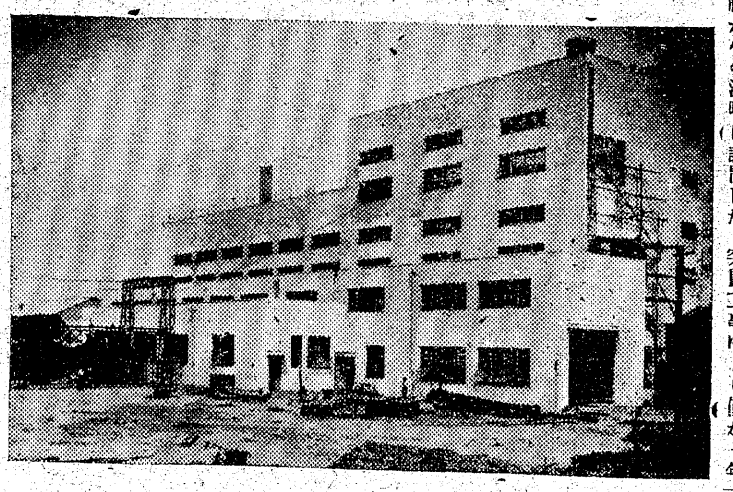
磐城日日

社長 新聞 通町51番
発行所 日日 浜町387番
小名浜 表31,355番
代合 仙台
福島県 磐城 電話
振替 集行
編発 人人 長 潮 芳 郎

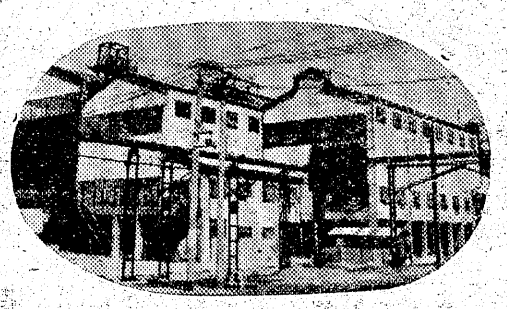
盛大に落成祝賀式

専賣公社の小名浜製鹽

六億の資本を投じ專賣公社が小名浜町に設置した日本製鹽工場は超ド級の突貫工事により僅か一年足らずで見事に完成わが國唯一の加壓式製鹽工場としての脚光を浴びていよ〳〵操業の段階を迎えるに至つたが、日産約七十トンの雪のような製鹽



【竣工した製鹽工場全景下は加壓設備工場】



植田保健所上棟式

去る九月中旬より着工した植田町保健所は同町吉田組吉田清氏の手で工事施行中であるが二十五日上棟の運びとなり盛大に上棟式を擧行した同保健所は一五〇坪、三百七十五万円で本年一杯で完成の予定

勿來町で白鳥選手歡迎會

勿來町では二十五日午後一時より同町酒井宇出倉より國体に白鳥博義君（一九）の歡迎会を同町スポーツ連絡協議会、青年会、町共催に依つて公民館で盛大に挙行した終つて午後七時より「三つの歌と歌の題名当て」があり六〇餘、婆さんも飛出すなど盛會であつた

植中競技大會

錦町中學とうでは去る十三日よりとう内クラス對抗競技大會を行つているが現在までに決定した成績は次の通りである

▽ソフトボール（女子）
一位…一年B、二年D、三年A
二位…一年A、二年C、三年C

▽野球（男子）
一位…二年A、三年D
二位…二年C、三年A

▽バスケット（男子）
一位…二年A、三年D
二位…二年B、三年B

▽仝（女子）
一位…二年A、三年D
二位…一年A、二年C、三年C

▽バレー（男子）
一位…一年D、二年A
二位…一年A、二年B、三年B

▽仝（女子）
一位…一年A、二年A、三年D
二位…一年D、二年C、三年A

なおこう内大會に於て授與する優勝旗も完成しており各クラスともに連日大健闘を續けている

工都建設への第一歩

水野町長の挨拶

日本專賣公社、製鹽工場の落成式にあたり紙上により町民各位に御挨拶を申上げます

昨春日本專賣公社が當町を製鹽工場建設の候補地として調定した事をきゝ町は急據これを町議会に諮り協賛を得て以來、議員をはじめ町民各位の絶大なる御協力を得て强力なる運動をなしたる結果全國の各候補に先じモデル工場として本町設置が決定し、昨秋その起工式を擧げたのであります

爾來、建設準備委員会野口事務所長の撓まざる御努力により最も困難なる冬期間の悪條件も克服し美事その建物を完成し鋭意内部工事を進めて居りましたが此の程完成を告げましたことは邦家百年の大計のため誠に慶賀に堪えないところであり心から祝意を表するものであります

當工場は從來の製鹽方法と異なり多年專賣公社の研究の精華であつて世界に冠たる加壓式電氣製鹽法を採用、近代科学の粋を盡した建物と機械設備を有し、本町に一大偉觀を加へ、先般來の試驗操業の結果は予想以上の優秀鹽の生産に成功、加うるに本町の海水は濃度高く、生産量も多く製鹽事業に最適であり只見川の電源開發と相まつて一大膨張をなし東北六縣の全需用を賄う計畫案もあると聞いて聞いて居ります

本町は縣内唯一の商港として且つ數十万坪の工場敷地を有し地質學上より見るも東北に類を見ざる最優秀なるものであり、日平十五万ボルトと送電線の完成と、鮫川水利の開發による工業用水の確保、加うるに豊富なる常磐炭出を有し、全國にまれに見る工業地であることは識者の等しく認めるところであります

先見の明ある故小野町長は工業都市建設を町是として、日本水素工業會社の誘致に成功して以來、港灣修築の完成等と相まつて異狀なる躍進をとげつつある本町はあくまで工業都市建設を目ざして町民各位の御理解ある御協力のもとに邁進する考えであります

終りに當工場の隆昌発展と從業員諸氏の御健斗を祈念いたしまして今日の喜びの御挨拶と致します

祝 日本專賣公社小名濱工場落成 10月28日

小名濱町役場

町長 水野政次郎
助役 長瀬國三郎
收入役 野崎昇太郎

小名濱町議會

議長 瀬上彰義
副議長 馬上喜一
議員 佐藤政種
同 小林仁一郎
同 松原文吾
同 高木嘉一郎
同 木村祐一郎
同 箱崎三行
同 野崎貞一郎
同 齋藤誠吾
同 金澤勉
同 西原猛
同 菅野勳
同 飯塚勝
同 鈴木宗秋
同 飯田七イ
同 小野務平
同 小野直千賀
同 小松勇吉
同 立花秀吉
同 木谷平
同 飯塚新門
同 藤社一郎
同 林人
同 長瀬啓一
同 橋本佐多壽

縣會議員
土木常任副委員長
小野義一

小名濱漁業協同組合

組合長理事 三代義勝
總務部 電話二・三五番
販賣部 電話一八〇番
製氷冷凍部 電話五一番

日本專賣公社 平出張所

所長 本田貢
社員 同 一

小名濱金融團

東邦銀行小名浜支店 支店長 山口勇
小名浜信用金庫 理事長 志賀要平
大東相互銀行小名浜支店 支店長 若松清彌
七十七銀行小名浜支店 支店長 藤野源治
福島相互銀行小名浜支店 支店長 菅野市男
常陽銀行小名浜支店 支店長 浜野爲吉

小名濱郵便局

局長 佐藤幸助

小名濱機船底曳網漁業協同組合

組合長 田島繁夫
電話二五九・二六五番

製氷冷凍工場

電話五九一番

塩元賣人
平塩業合名會社
社長 百澤易興
電話平一五四番

小名濱塩貯藏所
小島大造
電話小名浜四四番

小名濱埠頭株式會社

小名浜町高山三四
電話小名浜（代表）五〇一番

日本冷藏株式会社

小名浜工場長 内田正男

小名濱地方鹽販賣組合

日星製作所

小名浜町林ノ上
電話二五六番

日本塩回送株式會社 小名濱出張所

近藤仁

第665號　昭和27年(1952)10月28日（火曜日）　磐城日日新聞　第684號　特別承認郵便物認可　運輸省（第三種郵便物認可）　定價一部金一ヶ月60円（月曜休刊）　【2】

教委問題で大破亂
結局菅原氏に決定
二十七日の小名濱町会

小名浜町十月定例町会は二十七日公民館ホールに於て開かれ、教育委員会選擧に關する件ほか議案九件が上提審議された
全議員、長瀬助役、大浦経濟、村上厚生、小泉企画　齊藤学務、佐藤税務各課長出席（水野町長は丹毒の爲欠席）し長瀬議長により九時半開會冒頭飯塚新四郎議員起つて今回の公職選擧法違反にからむ一身上の辨明並びに見舞援助に挨拶し、議案第一号專決處分につき承認を求めるの件を上提、承認を得、續いて懸案の選擧第一号教育委員会委員選擧の件が上提された
先づ長瀬議長より二十五日の懇談会に依り選衡委員五名選任し審議の結果菅原勳議員を指名した、説過を述べ滿場一致承認一擧に解決するかに見えたが、小野務平議員突然起つて發言を求め
小野議員…私はこの指名に反対の意見を持つものであります（場内一瞬シンとする）私は菅原議員の教育委員には